

蒲田駅西口駅前広場サイン整備 UD 点検会アンケート（資料3）の結果

1) アンケートの集計

① アンケートの調査内容

a. 回答者の属性

所属、性別、年齢、障害の有無

b. サインの色（複数選択可）

ステンカラー、ダークグレー、ブラック、ブルー、グリーン、ダークブラウン、イエロー



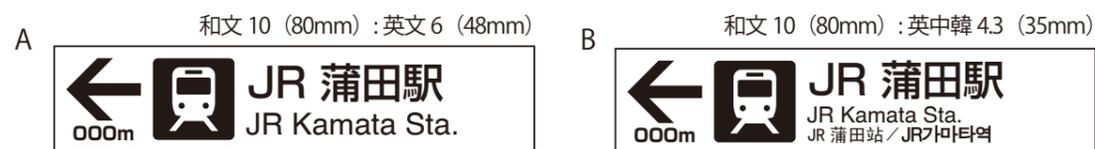
c. サインのデザイン

A: 人目を引くデザイン、B: 親しみを感じるデザイン、C: ユニバーサルなデザイン



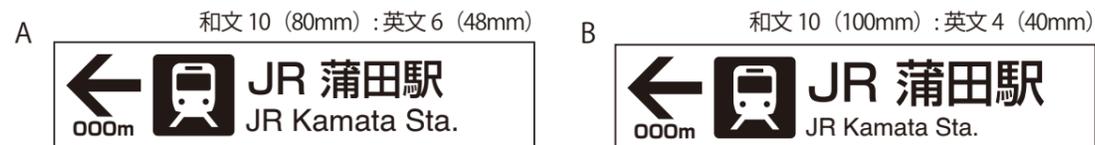
d. サイン表記の見やすさ

【調査1】 A: 2か国語表記 と B: 4か国語表記 の比較



【調査2】 和文と英文の文字高比率の比較

(和文・英文比が A: 10対6 の場合と B: 10対4 の比較)



【調査3】 地色の比較 (A: 白地に濃色文字 と B: 濃色地に白抜き文字 の比較)



※ 点検会配布資料、概要説明パワーポイント、アンケート用紙は【参考資料】に添付

② 回答者について

回収数：40名

【回答者の属性】

所 属	UD パートナー	12			
	西口部会・東口部会	7			
	その他	21			
性 別	男性	30			
	女性	10			
年 齢	20代以下	1			
	30代	6			
	40代	5			
	50代	11			
	60代	8			
	70代以上	9			
障害	有無	有	10		
	視覚障害	全盲	1	うち白杖使用者	1
		弱視	5	うち白杖使用者	3
	下肢障害		3	うち車いす使用者	1
	聴覚障害		2		

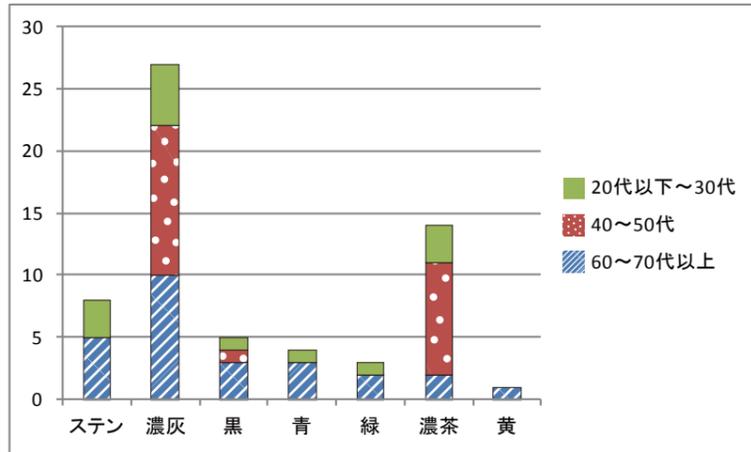
2) アンケート結果の分析

① サインの色（複数選択可）

サインの色については、ダークグレー（濃灰）とダークブラウン（濃茶）が多く選ばれた。
年齢や所属によっても選んだ色について大きな差は見られなかった。

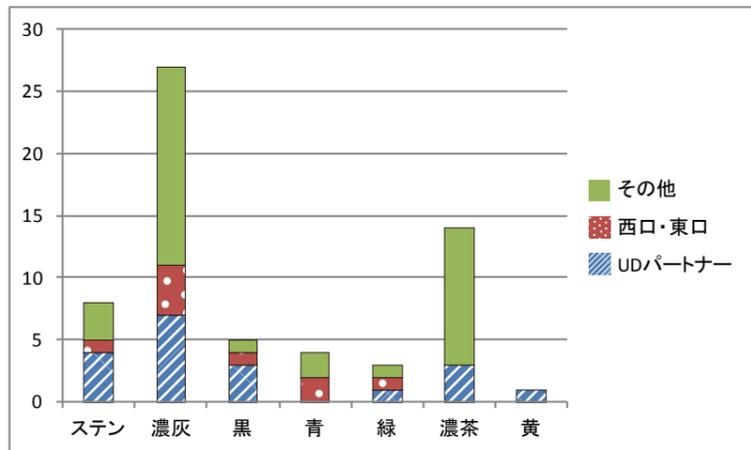
■ 年齢別の色選択数

年齢	ステン	濃灰	黒	青	緑	濃茶	黄
60～70代以上	5	10	3	3	2	2	1
40～50代	0	12	1	0	0	9	0
20代以下～30代	3	5	1	1	1	3	0
計	8	27	5	4	3	14	1



■ 所属別の色選択数

所属	ステン	濃灰	黒	青	緑	濃茶	黄
UDパートナー	4	7	3	0	1	3	1
西口・東口	1	4	1	2	1	0	0
その他	3	16	1	2	1	11	0
計	8	27	5	4	3	14	1



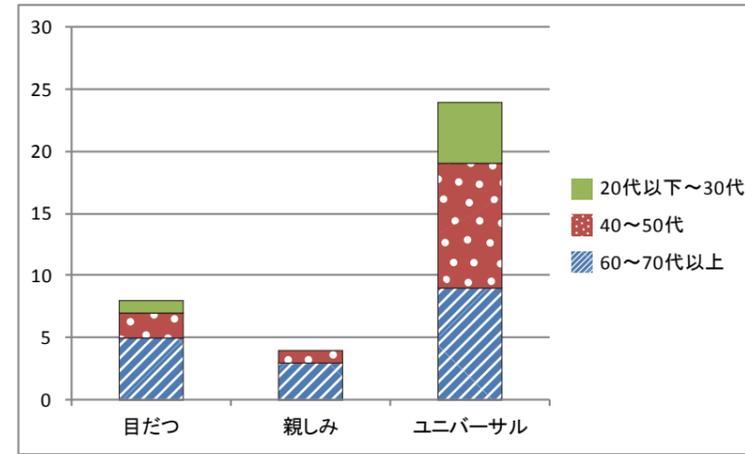
② サインのデザイン

サインのデザインについては、ユニバーサルなデザインが多く選ばれた。
また目だつことを重視*する意見も多く見られた。
年齢や所属によっても選んだデザインについて大きな差は見られなかった。

*C案が多かったが、ユニバーサルデザインというよりもシンプルな形ということで選定された表も考えられる。

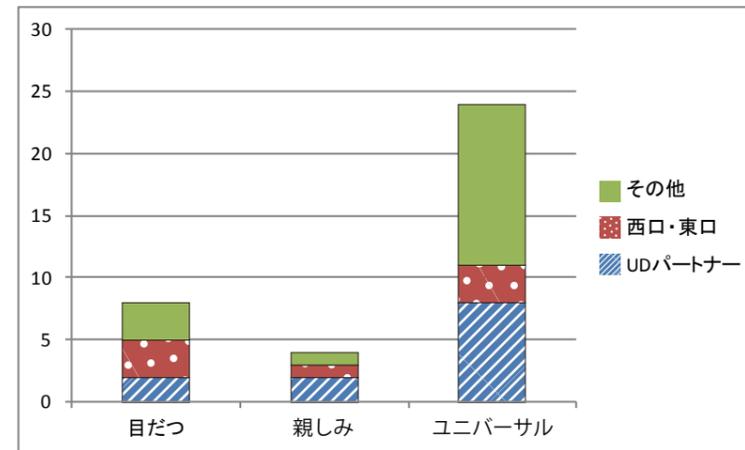
■ 年齢別の選択種類

年齢	目だつ	親しみ	ユニバーサル
60～70代以上	5	3	9
40～50代	2	1	10
20代以下～30代	1	0	5
計	8	4	24



■ 所属別の選択種類

所属	目だつ	親しみ	ユニバーサル
UDパートナー	2	2	8
西口・東口	3	1	3
その他	3	1	13
計	8	4	24



③ サイン表記の見やすさ

表記の見やすさについては、各調査についてモックアップを見てもらいながら「AとBどちらが見やすいか」という点で回答していただいた。

■ 全体の結果

	④見やすいサイン調査					
	調査1		調査2		調査3	
	A	B	A	B	A	B
計	24	13	16	18	15	23

■ 年齢別の結果

年齢	④見やすいサイン調査					
	A	B	A	B	A	B
60～70代以上	11	5	6	8	8	9
40～50代	9	7	6	9	5	11
20代以下～30代	4	1	4	1	2	3
計	24	13	16	18	15	23

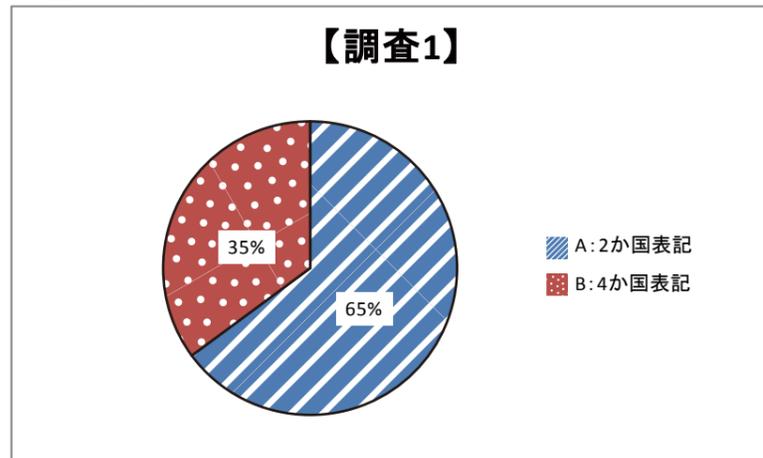
■ 所属別の結果

所属	④見やすいサイン調査					
	A	B	A	B	A	B
UDパートナー	6	6	5	5	7	5
西口・東口	5	1	4	2	3	4
その他	13	6	7	11	5	14
計	24	13	16	18	15	23

【調査1】 2か国語表記と4か国語表記による見やすさの比較

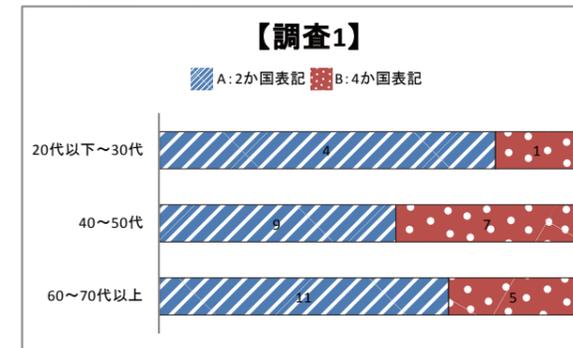
全体としては、4か国語よりも2か国語表記の方が見やすいという結果になった。

■ 全体の結果

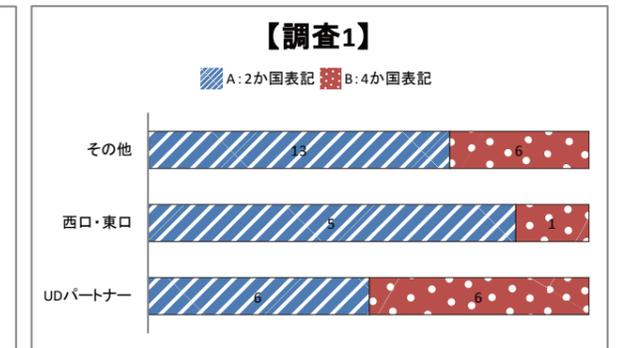


年齢別では、40～50代ではあまり差はなく、他の年代では4か国語よりも2か国語表記の方が見やすいという結果になった。所属の違いでは、UDパートナーではどちらも同数であった。視覚障害の方だけに絞ってみると、Aが3人、Bが2人と若干Aの2か国語表記の方が多かった。

■ 年齢別の比率



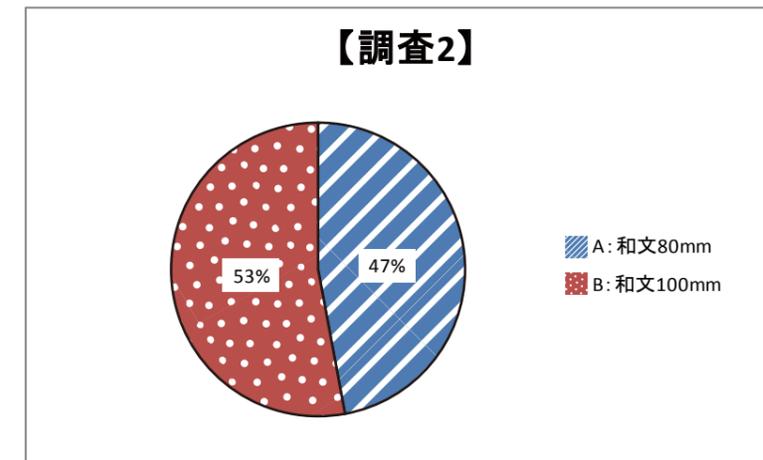
■ 所属別の比率



【調査2】 和文と英文の文字高比率による見やすさの比較

全体としては、比率によって見やすさはあまり変わらないが、和文と英文の文字の大きさに強弱を付け和文を大きくした方が見やすいという結果になった。

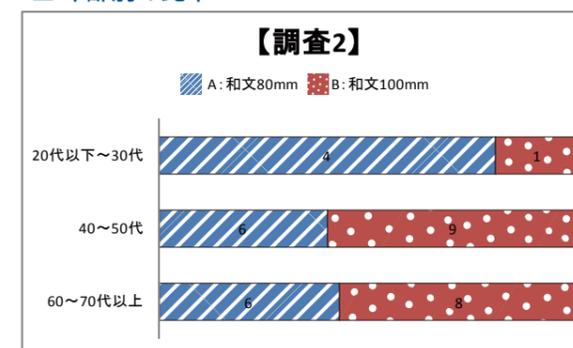
■ 全体の結果



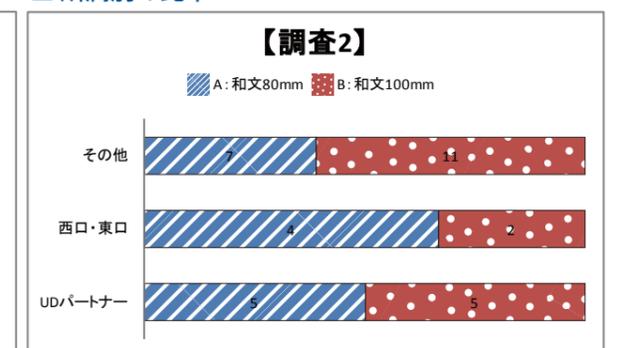
年齢や所属によって、見やすさが異なる。年齢別では30代以下では和文が小さい80mmの方が見やすいが、40代以降になると和文の大きい100mmの方が見やすい。

また所属別では、西口・東口部会の方は和文が小さいほうが、その他の方では和文が大きいほうが見やすいと違った結果が出た。またUDパートナーは同数だった。ただし視覚障害者に限って比較をするとAの和文の小さいほうが1人、Bの和文が大きいほうが4人と圧倒的に和文が大きいほうが見やすいという結果になった。

■ 年齢別の比率



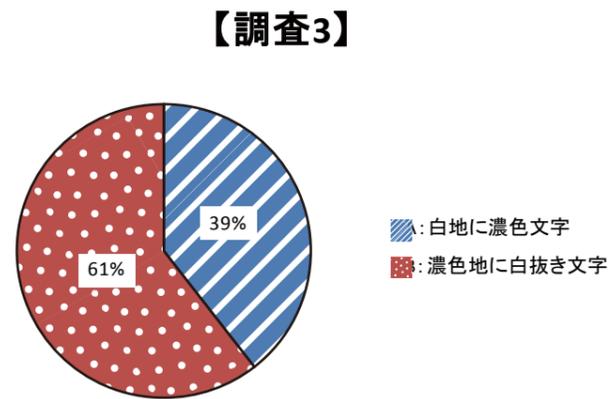
■ 所属別の比率



【調査3】背景色の違いによる見やすさの比較

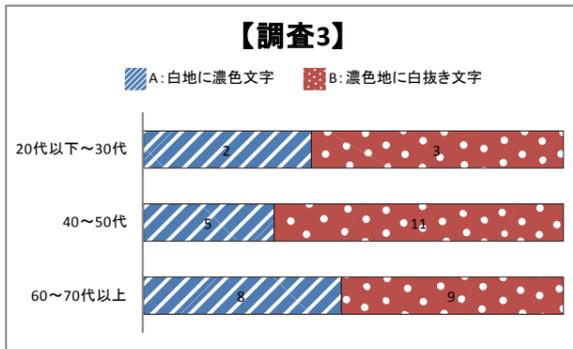
全体としては、白地に濃色文字よりも濃色地に白抜き文字の方が見やすいという結果になった。

■ 全体の結果

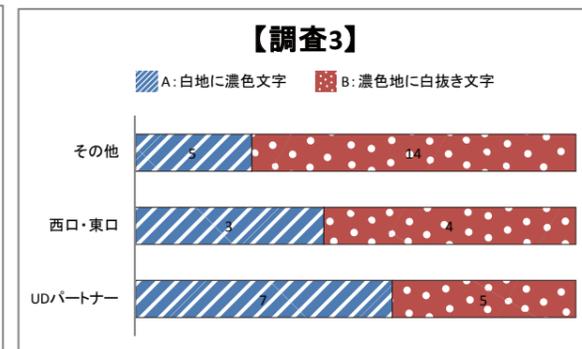


年齢によって見やすさは変わらないが、所属によって見やすさが異なった。UDパートナーでは白地に濃色文字の方が見やすい方が多い。ただし、視覚障害の方に限って比較してみると、Aの白地が1人、Bの濃色地が4人と濃色地の方が見やすいという結果になった。

■ 年齢別の比率



■ 所属別の比率



■ 視覚障害の方のみ絞り込んだ場合の見やすさ比較表

障害の種類1	障害の種類2	A	B	A	B	A	B
視覚障害全盲	白杖使用 有	1	0	0	1	0	1
視覚障害弱視	白杖使用 有	1	0	0	1	0	1
視覚障害弱視	白杖使用 有	0	1	0	1	0	1
視覚障害弱視	白杖使用 有	1	0	0	1	0	1
視覚障害	白杖使用 無	0	1	1	0	1	0